

やりきる 2024年度上半期の 成果

MURATA HARUKAZE

小中学校の音楽室理科室に エアコン設置へ



01

議会からも指摘されていた長年の懸案。中学生の声が後押しになり、財源の課題を乗り越え、来年度中の設置を決断しました。

市立水泳場跡地に公園整備を決定



02

市長公約の「すぐやる五策」にも掲げた公園整備を推進。子育て世帯に優しい公園を目指します。カフェなども誘致もできるか調査中。

道の駅の実現に向けて 基本構想が完成



03

※これはイメージ図です。建物等の詳細は変更になることがあります。

道の駅も動き出しています。まずは基本構想を策定。コンセプトを「ふじみ四季彩の郷」とし、さっそく基本計画の策定に取り掛かります。

大型企業が新たに進出

04

裾野市
企業立地
方針

民

企業誘致は一丁目一番地。ボトルウォーター工場に続き、今年度から大型企業が市内に立地。誘致中の案件も数多くあります。

市役所窓口がもっと便利に



05

待たない・書かない・頼りになる窓口を目指し、おくやみワンストップ窓口の満足度は98%。年度末に向け更なる改革を進めます。

地域医療を守るために



06

建物の老朽化や医師不足を抱える裾野赤十字病院。統廃合を回避するため、存続に向けた検討会を設置。地域医療の核を守ります。

防災に強いまちづくりを目指して



07

富士山の「裾野」だからこそ噴火防災は万全に。今年度は内閣府の支援を受け過去最大の図上演習訓練を実施。

観光を産業の柱に

08



製造業で発展してきた裾野市。観光をもう一つの産業の柱にするため、観光戦略を策定。2030年に観光客数300万人を目指します。

ベンチャー企業との連携にも 果敢にチャレンジ



09

大手フリマアプリと連携し、美化センターに持ち込まれた粗大ごみを出品する施策をスタート。県内3例目の新しい取り組みです。

財政健全化も強力に推進



10

公共施設再編・活用にも果敢に挑戦。将来投資と財政健全化を両立させ、今年度中の財政非常事態宣言解除を目指しています。

まだまだあります

More +



鈴木知事にも積極的に要望活

地域のイベントにも数多く出席

